

# 2022年3月期 第1四半期決算説明会資料

(2871)

## 株式会社ニチレイ

グループコミュニケーション部 I Rグループ

URL : <https://www.nichirei.co.jp/ir>

## グループ全体で通期の期初計画達成をめざす

(単位：億円)	第1四半期				通期				
	実績	前年同期間比		通期見込に 対する進捗率	見込	前年同期間比		前回見込比	
		増減	率			増減	率	前回見込	増減
加工食品	588	26	5%	25%	2,430	175	8%	2,400	30
水産	149	25	20%	25%	600	-31	-5%	600	0
畜産	201	-3	-1%	22%	882	41	5%	905	-23
低温物流	533	13	2%	24%	2,240	117	6%	2,240	0
不動産	11	-1	-10%	23%	47	1	1%	47	0
その他	10	-3	-20%	18%	49	0	0%	56	-7
調整額	-56	-2	-	-	-248	-30	-	-248	0
<b>売上高合計</b>	<b>1,437</b>	56	4%	24%	<b>6,000</b>	272	5%	6,000	0
加工食品	27	-15	-36%	15%	176	4	3%	182	-6
水産	2	4	-	34%	7	2	34%	7	0
畜産	4	1	39%	23%	16	3	23%	16	0
低温物流	37	5	15%	28%	143	12	9%	135	8
不動産	5	-1	-18%	26%	18	-2	-11%	18	0
その他	-1	-1	-	-	0	3	-	2	-2
調整額	-4	-1	-	-	-10	-2	-	-10	0
<b>営業利益合計</b>	<b>71</b>	-8	-10%	20%	<b>350</b>	21	6%	350	0
<b>経常利益</b>	<b>73</b>	-8	-10%	21%	<b>355</b>	20	6%	355	0
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	<b>44</b>	-10	-19%	19%	<b>230</b>	18	8%	230	0

為替レート	2022年3月期 見込	2022年3月期 1Q実績	2021年3月期 1Q実績
米ドル/円	106.00	105.90	108.97
ユーロ/円	125.00	127.68	120.16
バーツ/円	3.40	3.50	3.49

注：為替レートの実績は1月～3月の期中平均で算出

1. 売上高は、主力の加工食品や低温物流、水産が堅調に推移し増収。
2. 営業利益は、低温物流は好調に推移したが、コスト増加などによる加工食品の減益が響きグループ全体で10%の減益。
3. 通期見込は、グループ全体の売上高・営業利益は据え置くが、セグメント別の内訳を修正。

# タイ生産拠点での労働力不足が響き通期の営業利益を下方修正

(単位：億円)		第1四半期				通期				
		実績	前年同期間比		通期見込に対する進捗率	見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率			増減	率	前回見込	増減
加工食品	売上高 計	588	26	5%	25%	2,430	175	8%	2,400	30
	家庭用調理品	188	17	10%	25%	765	62	9%	750	15
	業務用調理品	217	3	1%	23%	950	82	9%	950	0
	農産加工品	50	0	0%	24%	205	5	3%	205	0
	海外	97	6	6%	27%	370	22	6%	355	15
	その他	35	1	3%	25%	140	5	4%	140	0
	営業利益	27	-15	-36%	15%	176	4	3%	182	-6

## (第1四半期)

1. 家庭用調理品は、自宅での喫食機会の定着により堅調に推移する中、需要が高まる米飯類やおかず類を中心に商品開発やプロモーションを強化。「本格炒め炒飯」や「特から」など主力商品の伸長や、春の新商品も順調に推移し増収。
2. 業務用調理品は、外食・給食向けを中心に前期を上回る。引き続き惣菜向け主力商品の拡販やキット系商品の拡充を進めるとともに、大手ユーザーとの取組みを強化する。
3. 海外では、米国のイノバジアン・クイジーン社の販売が好調に推移し増収。
4. 営業利益は、タイの生産工場において、新型コロナウイルス感染拡大に伴うワーカー不足により稼働が低下したことに加え、原材料コストの上昇や広告費の増加などもあり減益。

## (通期見込)

売上高は上方修正するが、タイでの生産回復が遅れる見込みなどから、営業利益を下方修正。

# 国内・海外事業ともに好調に推移し通期の営業利益を上方修正

(単位：億円)		第1四半期				通期				
		実績	前年同期間比		通期見込に対する進捗率	見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率			増減	率	前回見込	増減
低温物流	売上高計	533	13	2%	24%	2,240	117	6%	2,240	0
	国内小計	432	5	1%	24%	1,800	78	5%	1,800	0
	物流ネットワーク	254	1	0%	24%	1,040	12	1%	1,040	0
	地域保管	177	4	2%	23%	760	66	10%	760	0
	海外	95	6	7%	24%	395	30	8%	395	0
	その他・共通	6	2	51%	14%	45	9	25%	45	0
	営業利益計	37	5	15%	28%	143	12	9%	135	8
	国内小計	36	4	13%	27%	131	10	9%	124	7
	物流ネットワーク	15	3	21%	30%	54	3	6%	51	3
	地域保管	21	1	7%	28%	77	7	11%	73	4
海外	3	0	4%	19%	16	2	12%	15	1	
その他・共通	-1	1	-	-	-4	0	-	-4	0	

## (第1四半期)

1. 国内は、TC事業が堅調に推移したことや3PL事業の伸長に加え、業務改善なども寄与し増収・増益。
2. 海外は、オランダでの貨物取扱いが高水準で推移したことや、小売店向けの配送が好調を維持し増収。

## (通期見込)

1. 国内では、保管・運送の一体運営による集荷拡大や、前期に稼働したセンターの収益改善などにより増収・増益を見込む。
2. 海外では、欧州における港湾地区での取扱い拡大などにより増収・増益を確保。
3. 第1四半期の進捗を踏まえ、通期の営業利益を上方修正。

# 水産・畜産ともに営業利益は計画通り進捗

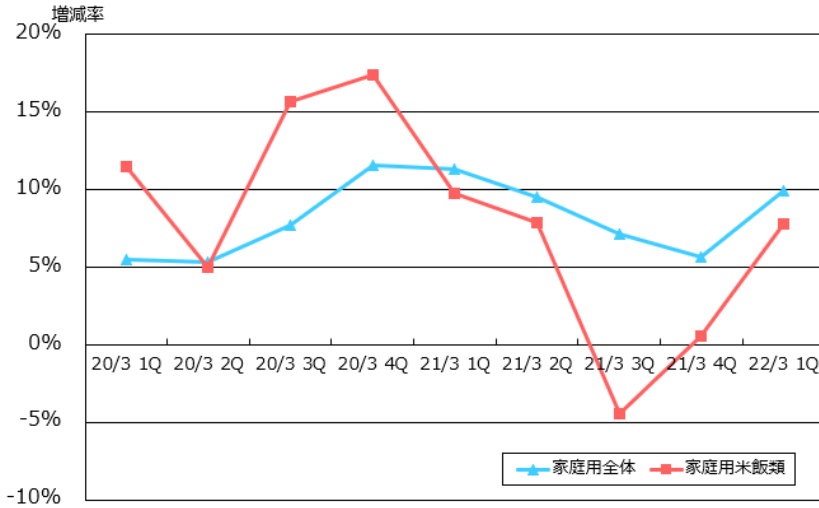
(単位：億円)		第1四半期				通期				
		実績	前年同期間比		通期見込に 対する進捗率	見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率			増減	率	前回見込	増減
水産	売上高	149	25	20%	25%	600	-31	-5%	600	0
	営業利益	2	4	-	34%	7	2	34%	7	0
畜産	売上高	201	-3	-1%	22%	882	41	5%	905	-23
	営業利益	4	1	39%	23%	16	3	23%	16	0

1. 水産は、寿司チェーン向けに自社加工の魚卵類の販売が好調に推移したことや、タコの販売価格が上昇したことなどにより増収・増益。
2. 畜産は、前期の内食需要の急増が一巡し、鶏肉や豚肉の生鮮品の取扱いが減少したものの、輸入冷凍品の収益改善やコスト低減などにより増益を確保。

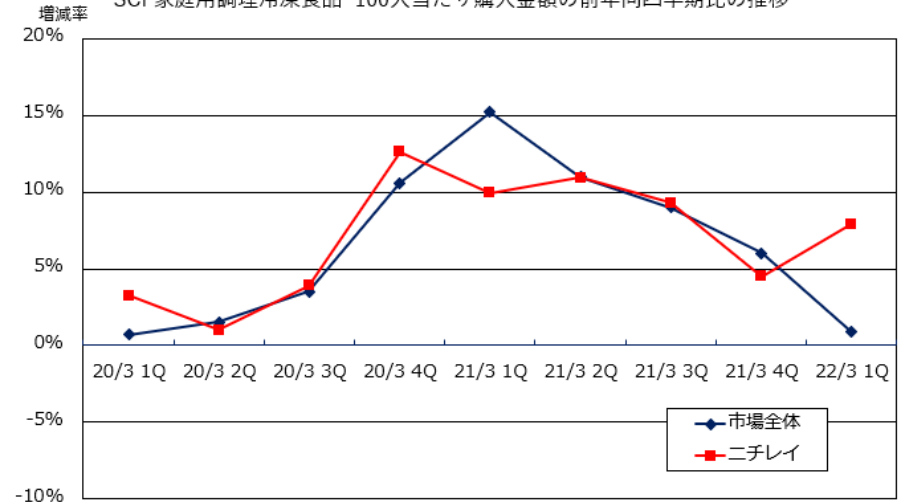
# 参考資料

---

当社の家庭用調理冷食の売上高前年同四半期比の推移

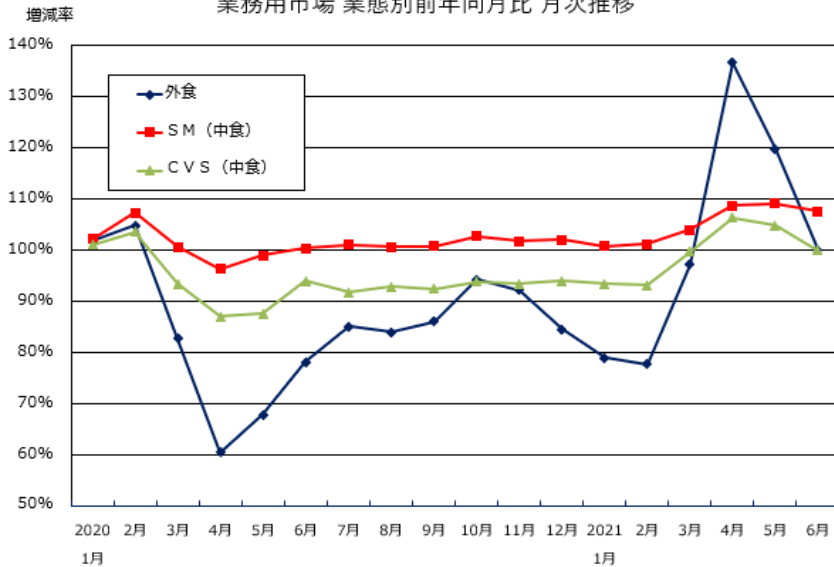


SCI 家庭用調理冷凍食品 100人当たり購入金額の前年同四半期比の推移



出典：インテージSCI（冷凍調理 100人当たり購入金額の前年同四半期比。購入ルート=生協店舗を含む）

業務用市場 業態別前年同月比 月次推移



出典：日本フードサービス協会、全国スーパーマーケット協会、日本フランチャイズチェーン協会のデータを当社で加工

## 当資料取扱い上のご注意

当資料に記されたニチレイの現在の計画・見通し・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただくようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます：

- ①ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢および業界環境
- ②米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
- ③商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
- ④新商品・新サービス開発の実現性
- ⑤成長戦略とローコスト構造の実現性
- ⑥ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
- ⑦偶発事象の結果

など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでニチレイをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。